

## 【阿蘇市】校務DX計画

阿蘇市は、校務系情報化計画の中、シンククライアントシステム<sup>※1</sup>の導入や「すぐーる」の活用による連絡の迅速化及び紙使用の削減、また、マイクロソフトTeamsを活用した児童生徒の時間割・連絡の迅速化や教職員間の週予定の共有による校務の効率化を推し進めてきた。ただ、課題も確認される。

①個人スキルにばらつきがあり活用できていないケースも散見される。スキルの格差が残業時間差の一因になっていることも課題である。

②各市町村で校務支援システムやクラウドツール・アプリケーションツールが違い、異動した先生方は慣れるまでに時間がかかる。

③個人情報の漏洩リスク低減のため、教育情報セキュリティポリシーの改定および、教職員への教育情報セキュリティの教育・訓練・監査が必要である。

その他、FAXでのやり取りや、押印廃止等を推し進め、下記の校務DX計画推進していく予定である。

- 1.保護者及び児童生徒への連絡網の定着→現状Teams を活用し充実
- 2.児童生徒の心の健康観察の定着→TeamsのRefrectを活用
- 3.デジタルドリル（ジャストスマイル活用）の充実化→AIを活用し加速化
- 4.ハイブリッド事業の継続→対面、オンラインによる授業参加環境の維持
- 5.次世代校務支援システム検討→近隣市町村と協議を経てできれば統一
- 6.FAX回線の解約→1年間の準備期間を経て、メールやクラウド活用に代替
- 7.教育ダッシュボード<sup>※2</sup>検討→教育のBI化（児童生徒・教職員）個別最適化
- 8.教育情報セキュリティポリシーの改定と周知→改定後学校や先生方へ周知徹底  
上記を実現年度を踏まえ、検討していく予定である。

### 用語解説

※1シンククライアントシステム：PC端末自体にデータやアプリケーションを保存せずに設置したサーバで情報データの管理・処理を行うシステム

※2教育ダッシュボード：生徒たち一人一人の各種「教育データ」（学習状況・成績・出席等）を収集・可視化し分析を行う教員用システム